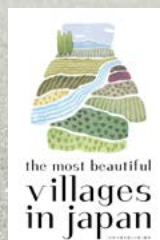


美瑛町 町勢要覧

令和7年度





美瑛 Biei

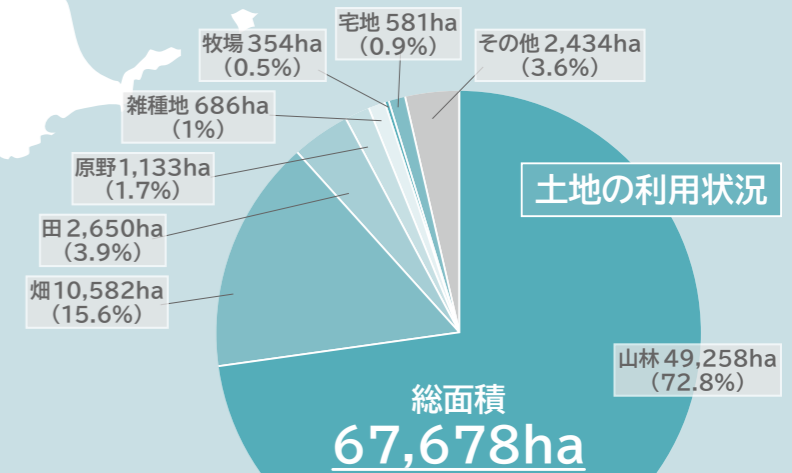
美瑛町は北海道のほぼ中央に位置し、なだらかな波状丘陵と雄大で緑豊かな自然環境が魅力のまちです。小麦、甜菜、豆類、馬鈴薯などの畑作農業を基幹産業としながらも、近年は「日本で最も美しい村」連合の取り組みをはじめとした、美しい景観を次の世代に伝える取り組みも行っています。

地理

北緯 43 度 35 分・東経 142 度 28 分の北海道のほぼ中央に位置し、旭川市・芦別市・東神楽町など2市6町に隣接しています。地勢は波状丘陵を呈し、畑が開けています。地質は東部山麓が石英粗面岩質、西部が湖成洪積土壌ですが、大部分を河成沖積土壌が占めています。

気象は、年の平均気温は5.9℃、年間降水量は約 1,000mm となっており、寒暖の差が激しい内陸性の気候で、明確な春夏秋冬の美しい自然に恵まれています。

美瑛町

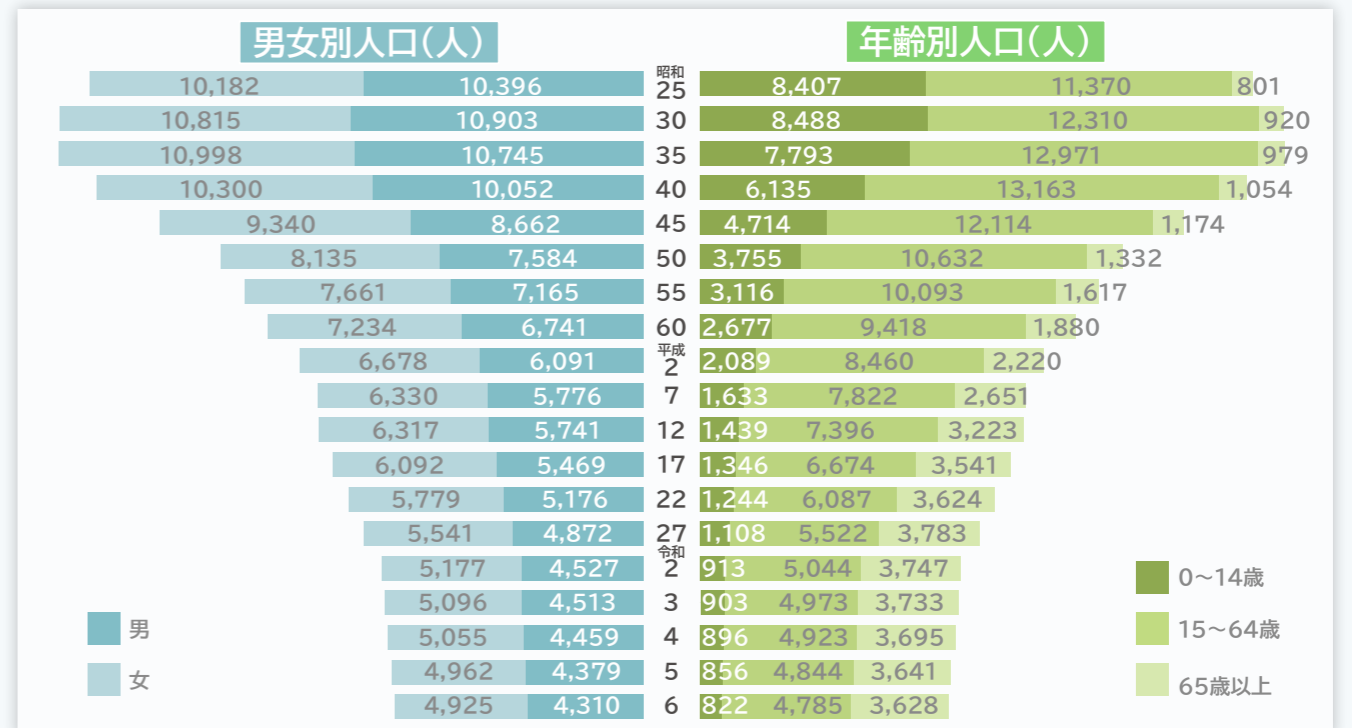


資料：令和7年度土地に関する概要調査等報告書

人口

第6次美瑛町まちづくり総合計画では、町民と行政の協働で地域課題を解決しながら、美瑛の強みである景観・自然・農業・観光・文化などの魅力があふれるまちづくりを進め、令和22年(2040)には、7,570人程を維持できる規模を目標としています。

なお、令和7年3月31日現在の人口は、9,341人となっています。



美瑛町の 農業

美瑛町の農業は、畑作と稲作により発展してきましたが、近年では水田の転作による施設野菜や高収益作物の栽培も盛んとなり、田・野菜複合や畑・野菜複合などの複合経営も多くなっています。

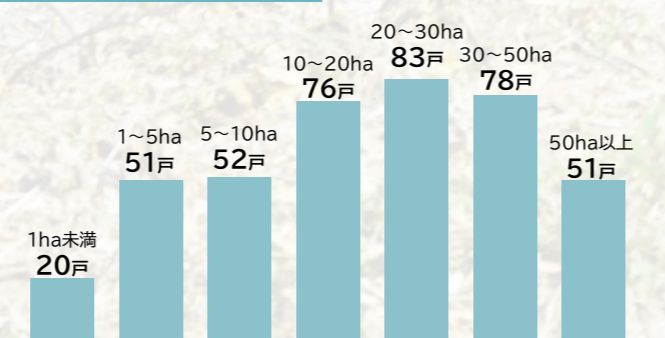
独 特の波状丘陵の台地に畑が広がり、丘陵をぬって流れる河川流域が水田地帯となっているのが特徴で、国土や環境の維持・保全機能は勿論のこと、人の心に癒しや安らぎを与える美しい農村景観を目的に多くの人々が訪れるようになり、観光資源としても、本町の地域経済の基盤として大きな役割を果たしています。

しかし、本町においても農業者の高齢化は深刻な問題となっており、さらに担い手・後継者不足や離農により、農家戸数が減少するなど、遊休農地の発生や地域社会・集落機能の低下が危惧されています。これらの課題を解決するため、新規就農者向けの支援やスマート農業の導入、農福連携の取り組み等を進めています。

農業経営体数の推移

年代	法人経営体	個人経営体
平成 17 年	17	591
平成 22 年	28	529
平成 27 年	40	459
令和 2 年	44	362

経営規模(令和2年)



資料:農林業センサス

耕地面積

(令和7年3月)

田	普通畑
2,200ha	10,400ha

資料:北海道農林水産統計年報

主要作物の作付状況

(令和7年3月)

水稻	麦類	豆類	てん菜	馬鈴薯	野菜	飼料
857ha	3,295ha	1,091ha	918ha	727ha	816ha	2,744ha

資料:区域内農業生産実績(JA)

農業生産額

(令和6年度)

水稻	麦類	雑穀豆類	てん菜	馬鈴薯	野菜	畜産
1,527	1,078	829	939	1,359	3,197	5,455

※単位は百万円

資料:区域内農業生産実績(JA)

飼育頭数

(令和7年2月)

豚	肉用牛	乳用牛	採卵鶏
10,509	5,468	5,532	606

羊 55
馬 28
山羊 11

美瑛町の 林業

美瑛町は、森林面積が全町の約7割を占めています。
その約1/3が民有林であり、この多くが人工林となっています。

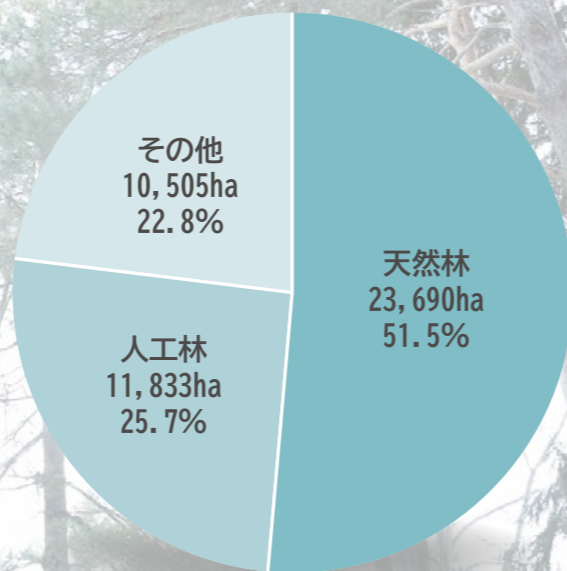
森 林は、木材生産に限らず、生物の多様性や温暖化防止等の環境形成・土砂災害防止といった多面的機能を有しており、これらを持続的に機能させるためには、適切な森林整備が必要です。

美瑛町の民有林は適切な森林管理を行っており、令和元年に持続可能な森林と認められ、SGEC森林認証※を取得しました。

※SGEC森林認証制度については、SGEC「緑の循環」認証会議ホームページを参照ください。

一般社団法人緑の循環認証会議
【<http://sgec-eco.org/>】

森林面積(ha)(令和7年4月)



資料:北海道林業統計

美瑛町の 商工業

豊富な農産物と観光資源を基礎として、農業や観光産業はもとより、多くの商工業が営まれてきました。

美 瑛町の商工業では、人口減少や後継者不足、商圈拡大による消費の流出など、厳しい状況が続いています。

こうした中、地域活性化を目指して整備された「丘のまち交流館 bi.yell」では、施設を利用した催しの開催、魅力ある多彩な展示による集客、美瑛ブランドの創出等に取り組んでいます。

また、町内2カ所の道の駅を活用し、中心市街地と観光エリアの人の流れを活性化するとともに電子地域通貨「Be コイン」の普及による町内消費の拡大が期待されます。

商工業の状況

区分	令和3年度			令和6年度		
	事業所数	従業員数(人)	販売額(百万円)	事業所数	従業員数(人)	販売額(百万円)
A~B 農林漁業	35	343	6,370	32	298	6,377
C 鉱業、採石業、砂利採取業	0	0	-	0	0	-
D 建設業	27	263	-	23	291	-
E 製造業	24	289	17,840	19	272	8,608
F 電気・ガス・熱供給・水道業	1	5	-	1	5	-
G 情報通信業	1	5	-	1	1	-
H 運輸業、郵便業	12	338	-	14	224	-
I 卸売業、小売業	115	745	20,451	88	688	22,359
J 金融業、保険業	5	37	-	4	22	-
K 不動産業、物品賃貸業	11	27	57	8	29	68
L 学術研究、専門・技術サービス業	9	23	226	4	14	182
M 宿泊業、飲食サービス業	92	431	1,497	60	356	1,852
N 生活関連サービス業、娯楽業	31	78	484	8	36	406
O 教育、学習支援業	8	27	-	3	35	-
P 医療、福祉	25	453	1,275	28	496	1,246
Q 複合サービス事業	6	178	-	5	91	-
R サービス業(他に分類されないもの)	27	195	-	31	210	-



美瑛町の
観光

美 瑛町の観光は、雄大な十勝岳連峰の裾野に湧き出る白金温泉を起源とし、山麓に広がる波状丘陵地帯で営まれている農業の景観が人々に感動を与え、「丘のまちびえい」として全国的に有名になりました。近年は、砂防整備によって生まれた「青い池」が、幻想的な風景が広がる観光スポットとして大勢の観光客が訪れています。

観光客の入込客数（人）

年代	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
美瑛町全体	2,419,200	1,295,300	1,062,400	1,819,400	2,387,200	2,686,300
白金地区	1,284,123	543,809	511,637	720,469	718,076	800,546
四季の情報館	128,197	36,974	32,192	76,829	128,753	163,464
十勝岳砂防情報センター	13,879	7,351	5,892	9,032	11,959	14,743
道の駅「白金ビルケ」	278,581	189,356	162,411	231,066	226,378	253,958

美瑛駅の乗車人員（人）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
乗車人員	173,118	123,370	120,450	120,085	126,290	123,735



美瑛町の
イベント

1 年を通じた交流人口の拡大や「丘のまちびえい」のブランド力向上を目的としたスポーツイベントを開催しています。6月には「丘のまちびえいヘルシーマラソン」、9月には「丘のまちびえいファンライド」、2月には「寛仁親王記念 丘のまちびえい宮様国際スキーマラソン」を開催し、道内外のスポーツ愛好家へ四季折々に移りゆく美瑛の魅力を発信しています。



丘のまちびえいヘルシーマラソン



丘のまちびえいファンライド



寛仁親王記念 丘のまちびえい
宮様国際スキーマラソン



美瑛町の

教育・文化

美 瑛町は地理的条件から学校数が増え、最も多い時には小学校 22 校、中学校 11 校の計 33 校を数えました。しかし、少子化に伴い児童生徒数が減少し、平成 11 年度には学校統合検討委員会が設置され、整備統合についての検討がなされました。その結果、現在では小学校5校、中学校2校の計7校まで減少し、児童生徒数は 561 人となっています。

図書館は、昭和 38 年に建設された公民館施設内に図書室として設置されたのが始まりで、昭和 54 年の大規模改修によって1階が図書館、2階を郷土資料館として運用していました。しかし、建物の老朽化により新たな図書館・郷土資料館の建設が検討され、平成 24 年6月に新図書館がオープンしました。また、本町の郷土・自然及び天文について町民をはじめ多くの人々が学ぶことのできる施設として『丘のまち郷土学館「美宙」』が平成 28 年7月にオープンしました。

図書館の利用状況（令和6年度）

開館日数	299日
入館者数	41,303人
利用者数	16,481人
総貸出冊数	78,635冊
蔵書冊数	78,476冊
町民1人当たり貸出数	8.5冊
町民1人当たり蔵書数	8.5冊

郷土学館の利用状況（令和6年度）

開館日数	308日
入館者数	5,124人
うち天文台	744人
展示数	約150点
収蔵数	約2,350点

学校の状況（令和7年5月1日）

区分	学校数	学級数	教員数
小学校	5	45	78
中学校	2	21	44
高校	1	3	14

園児・児童・生徒数（令和7年5月1日）※保育所・幼保連携型認定こども園は令和7年3月31日現在

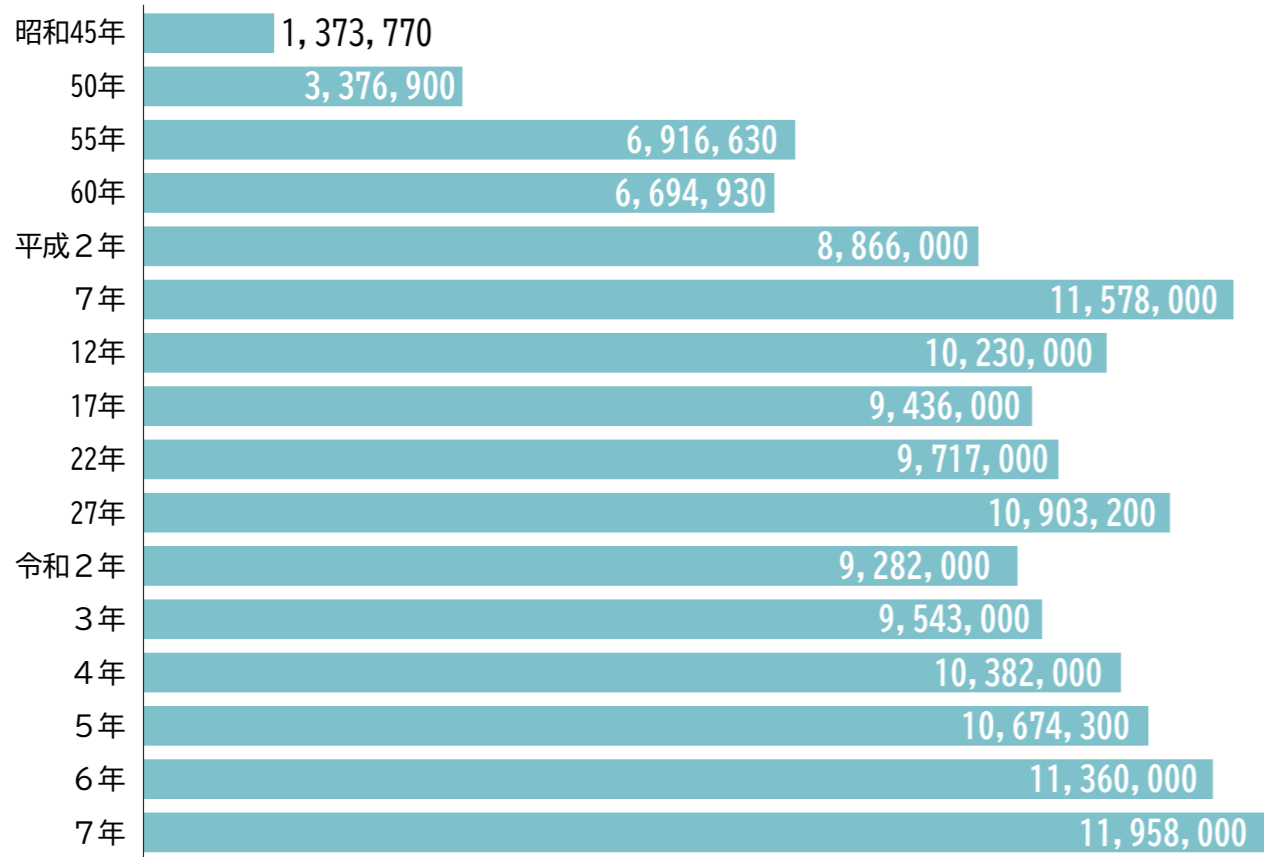
区分	児童生徒数	年齢別					うち特別支援	
		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児		5歳児
保育所	2・3号認定	113	11	18	22	22	24	16
幼保連携型認定こども園	1号認定	96	-	-	9	7	8	10
	2・3号認定		-	8	13	12	17	12
区分	児童生徒数	学年別						
		1	2	3	4	5	6	うち特別支援
小学校	339	40	59	47	65	51	77	100
中学校	222	67	71	84				54
高校	41	17	14	10				

財政

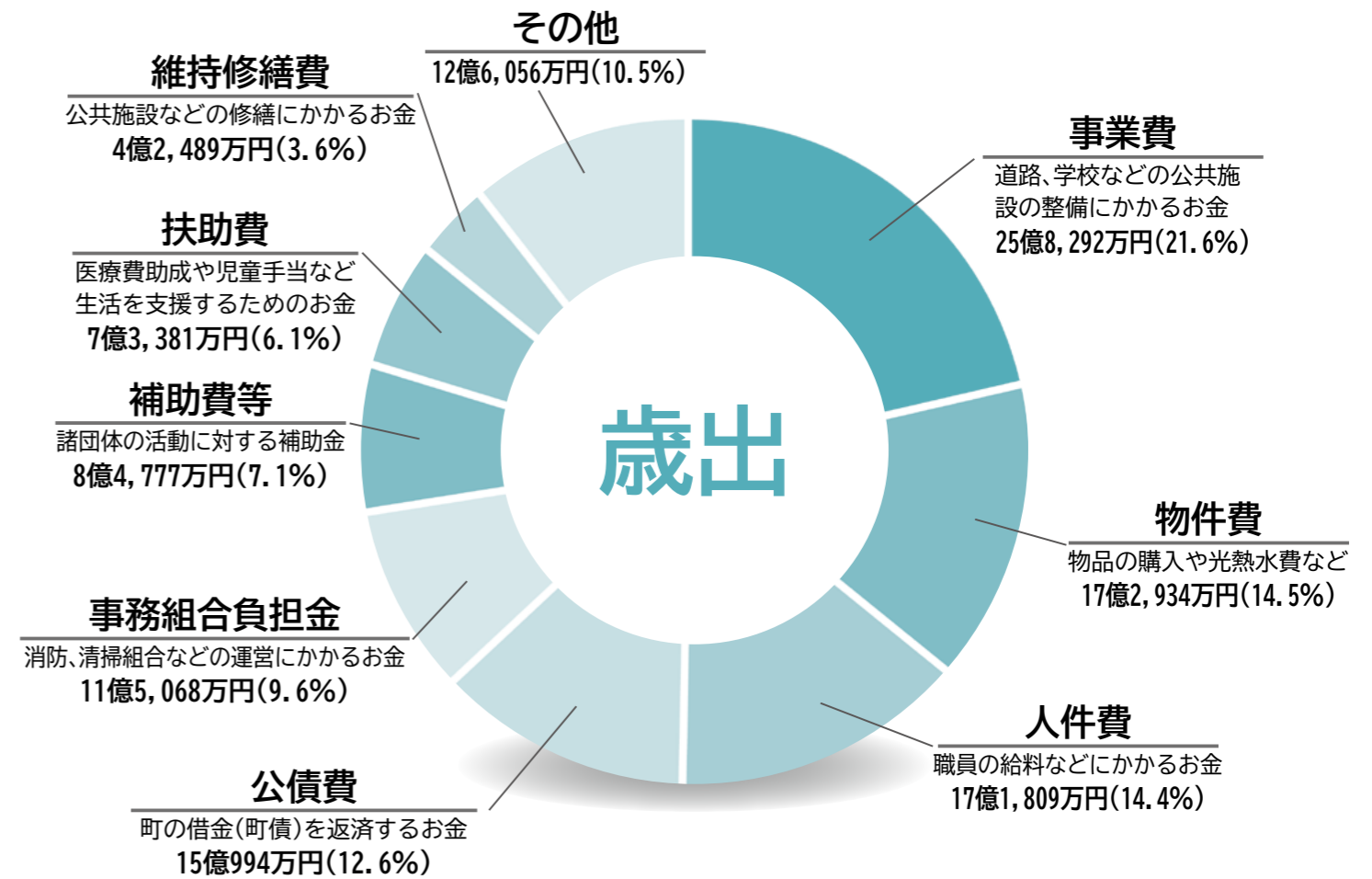
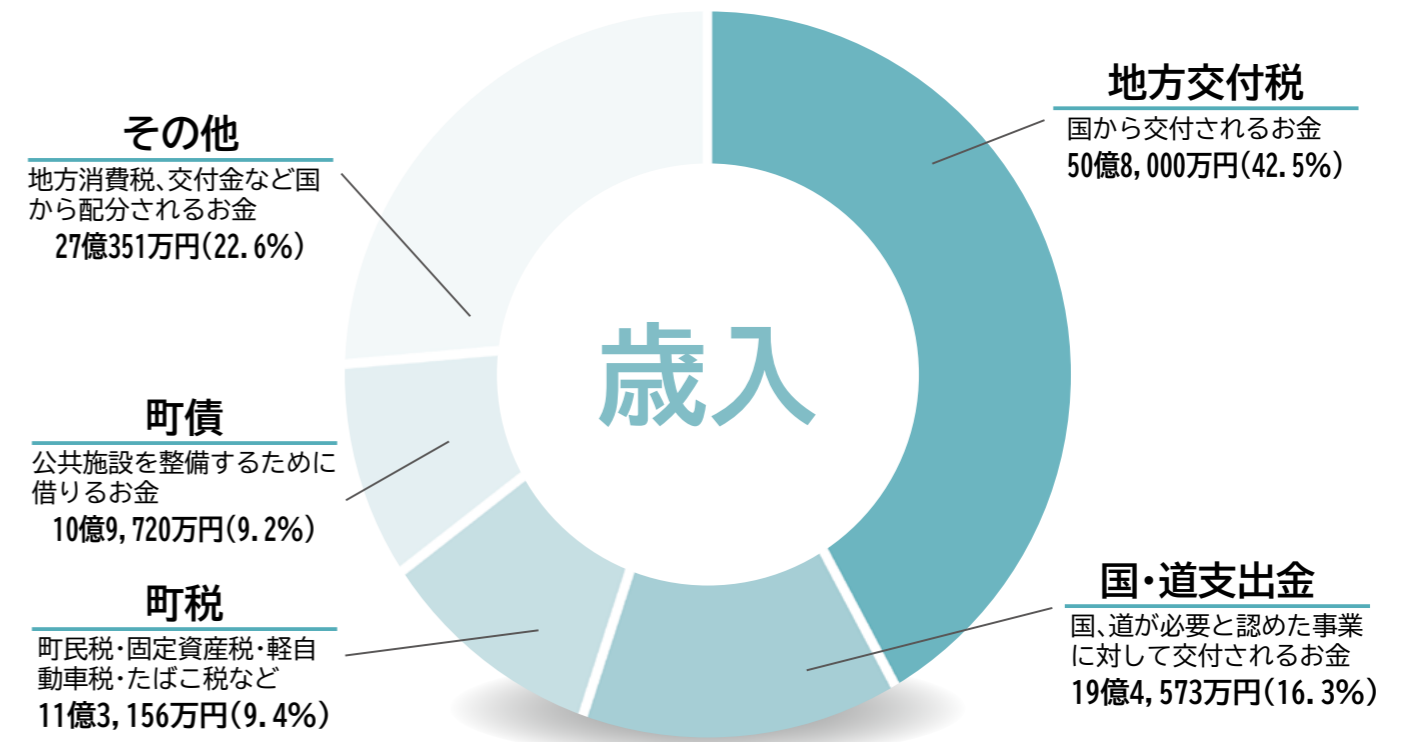
■各会計予算集計表(令和7年度当初予算)

会計区分		予算額	
一般会計		11,958,000 千円	
特別会計	老人保健施設事業特別会計	96,747 千円	
	白金泉源事業特別会計	20,430 千円	
	計	117,177 千円	
企業会計	水道事業	収益的支出	314,218 千円
		資本的支出	200,045 千円
	小計	514,263 千円	
	公共下水道事業	収益的支出	444,704 千円
		資本的支出	126,410 千円
	小計	571,114 千円	
	水力発電事業	収益的支出	60,242 千円
		資本的支出	1,301 千円
	小計	61,543 千円	
	病院事業	収益的支出	1,225,101 千円
		資本的支出	196,518 千円
小計	1,421,619 千円		
計	2,568,539 千円		
合計	14,643,716 千円		

■一般会計予算額の推移(単位:千円)



令和7年度一般会計予算



行政

■住民組織(令和7年3月31日現在)

行政区	郊外町内会			市街地町内会		
	会数	班数	会員数	会数	班数	会員数
32	92	138	1,059	37	209	2,852

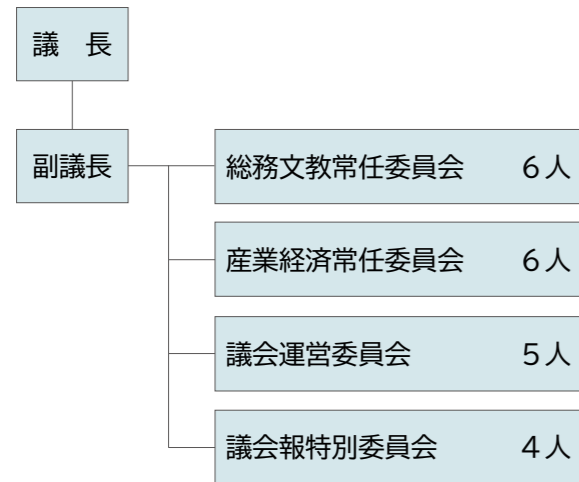
■町職員(令和7年4月1日現在)

	町長部局	議会事務局	監査委員事務局	農業委員会事務局	選挙管理委員会事務局	教育委員会
定数	238 (内 85 は町立病院)	4	1	4	1	27
現員数	196 (内 61 は町立病院)	3	併3	4(内併1)	併10	21(内併8)

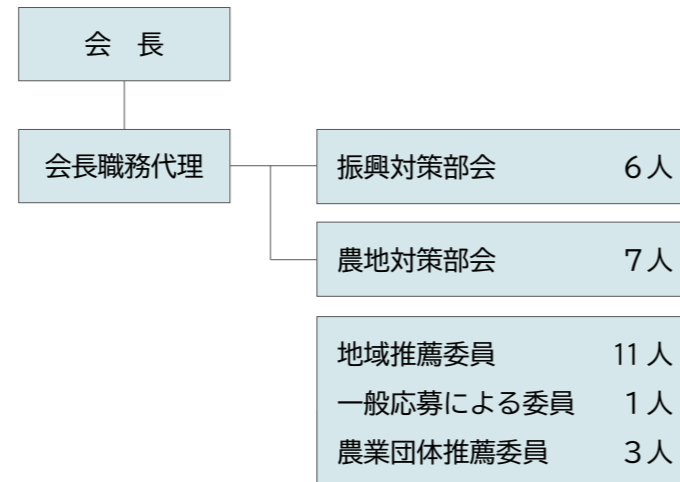
■選挙人名簿登録人数(令和7年3月31日現在)

	男	女	合計
人数	3,752	4,284	8,036

■議会構成



■農業委員会構成



消防・警察

■車両の状況(令和7年3月31日現在)

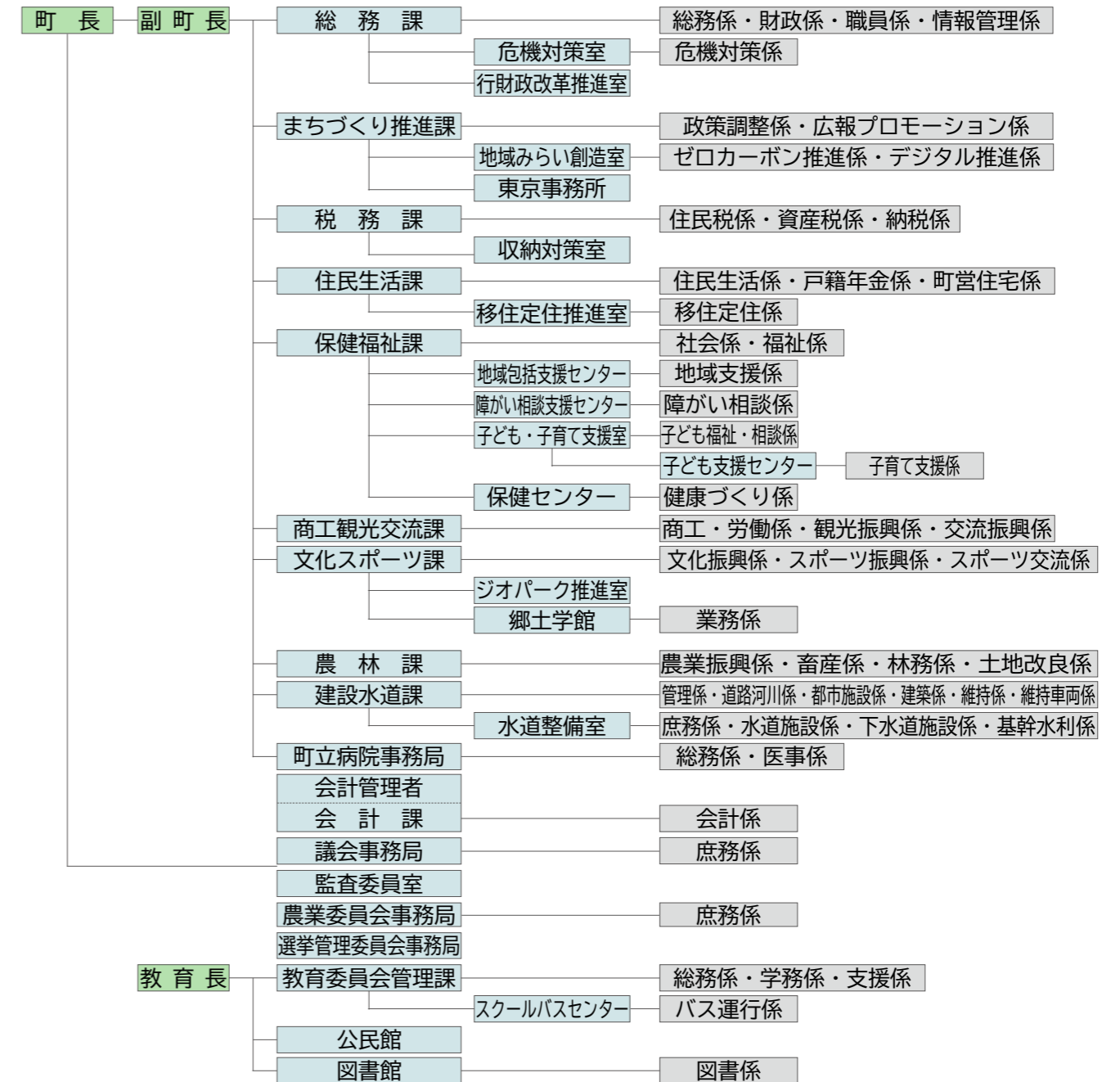
車両種類	ポンプ車	タンク車	水槽車	救急車	指揮車	人員輸送車	資機材搬送車
台数	7	1	2	2	1	2	3

■救急活動の状況(令和6年1月1日～12月31日)

事故種別	火災	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	自損行為	急病	転院搬送	その他	合計	1日当
出動件数	0	59	12	2	131	4	454	81	2	745	2
搬送人員	0	56	12	2	127	2	430	81	0	710	1.9

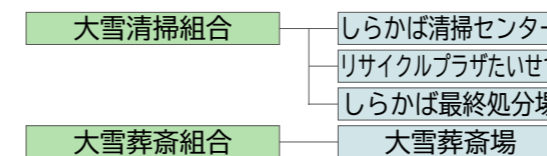
機構図(令和7年4月1日現在)

■美瑛町機構図



■一部事務組合機構図

(美瑛・東川・東神楽3町で構成)



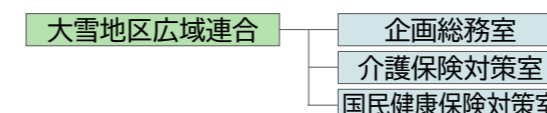
■一部事務組合機構図

(美瑛・東川・東神楽・当麻・比布・愛別6町で構成)



■広域連合機構図

(美瑛・東川・東神楽3町で構成)



福祉

■国民年金の状況（令和6年度）

被保険者数				受給者(拠出)
総数	1号	任意	3号	総数
1,686	1,279	33	374	3,784

■国受給者（拠出）の内訳（令和6年度）

受給者(拠出)			
年齢	通算年齢	障害	遺族
3,530	1,279	226	18

保健衛生

■医療施設の状況（令和6年度）

病院	診療所	病床	歯科	薬局	保健センター
1	1	98	4	5	1

■ごみ収集と処理の状況（令和6年度）

区分	収集車搬入量		一般車搬入量		合計		備考
	台	重量(kg)	台	重量(kg)	台	重量(kg)	
可燃ごみ	861	1,383,120	13,314	1,333,130	15,175	2,716,250	
不燃ごみ	134	54,530	1,878	307,670	2,012	362,200	粗大ごみ含む
焼却灰	32	9,050	-	-	32	9,050	

■ごみ収集と処理の状況（リサイクルプラザたいせつ）(kg)（令和6年度）

びん類	缶類	ペットボトル	プラスチック	紙類	布類	合計
69,780	31,770	31,350	61,220	0	0	194,120

■社会福祉施設

施設名	定員	
保育所	どんぐり保育園	130人
	朗根内へき地保育所	30人
児童館	なかよし児童館	—
介護老人保健施設	ほの香	入所 60人 通所 30人

建設

美瑛町の町道は、沢地を通り市街地と集落を連結する道路、丘陵地帯の高台を通り集落と耕地を結ぶ道路、沢と沢を横断し集落を結ぶ道路に大別され、510路線 655.5kmを有していますが、地域が広大であることと地理的要因により改良率は68.0%（445.8km）、舗装率は51.1%（335.2km）となっています。

水道施設が整備されているのは、本町地区（市街地から旭・下宇莫別地区）、白金地区（白金から置杵牛）、平和地区（美沢から瑠辺薬）、五稜地区（五稜から旭地区の一部）となっています。公共下水道事業は、昭和49年度に基本計画が立案され、昭和51年度に着手して以来、処理普及率は68.1%となっています。

■町道(令和7年3月31日現在)

路線数	実延長(m)	改良済(m)	未舗装道(m)	舗装道(m)セメント系	舗装道(m)アスファルト系	簡易舗(m)アスファルト系	舗装合計
510	655,516	445,777 (68.00%)	321,540 (48.90%)	6,564 (1.00%)	110,488 (17.00%)	216,949 (33.10%)	334,001 (51.10%)

■橋梁

橋梁数	延長(m)	面積(m ²)	永久橋		
			橋梁数	延長(m)	面積(m ²)
164	3,543	27,126	164	3,543	27,126

■上水道の状況

項目		
行政区域内人口	(人)	9,235
給水区域内人口	(人)	8,864
給水人口	(人)	8,255
給水戸数	(戸)	4,324
普及率	(%)	93.1
年間有収水量	(m ³)	1,034,386
1日平均有収水量	(m ³)	2,833
管路布設総延長	(km)	317
浄水場施設	(力所)	5

■公共下水道の状況

項目	
計画処理区域	(ha) 368
雨水管渠延長	(m) 53,960
污水管渠延長	(m) 67,280
計画人口	(人) 6,100
行政区域内人口	(人) 9,235
処理区域内人口	(人) 6,287
行政人口普及率	(%) 68.1
処理区域内水洗普及率	(%) 98.2

■農業ダム施設一覧表（令和6年4月1日現在）

ダム名	河川名	所在地	事業目的	施工年	流域面積(km ²)	総貯水量(千m ³)	有効貯水量(千m ³)	常時満水位(m)	湛水面積(km ²)	堤高(m)	堤長(m)	形式	受益面積(ha)	関係市町村
聖台	美瑛川 宇莫別川	中宇莫別	かんがい	昭和12年	57.1	3,999	3,981	278.2	0.51	29.7	485.4	アースダム	1,022	旭川市 東神楽町
水沢	美瑛川 水沢川	水沢	かんがい	昭和39年	3.1	945	906	303.5	0.22	14.5	125.2	アースダム	483	旭川市
しろがね	美瑛川 オヤウン ナイ川	白金	かんがい	平成4年	直接流域 6 間接流域 67.00	6,800	6,664	512.5	0.485	63.5	611	フィルダム	水田 158 畑 7,294	上富良野町 中富良野町
新区画	美瑛川 置杵牛川 ニタチバウ マイ川	新区画	かんがい	昭和49年	直接流域 5.1 間接流域 38.50	5,600	5,223	291.6	0.455	32.3	274.7	アースダム	水田 1,280 畑 204	旭川市 東神楽町

令和7年度
美瑛町 町勢要覧

美瑛町役場

〒071-0292

北海道上川郡美瑛町本町4丁目6-1

☎0166-92-1111

編集／美瑛町まちづくり推進課広報プロモーション係

